

令和4年度第1回総合教育会議議事録

1. 日 時 令和5年3月2日(木) 午前10時30分～午前11時50分
2. 会 場 高鍋町教育委員会 大会議室
3. 出席者 黒木 敏之 町長、小山 圭一 副町長、島埜内 遵 教育長、黒木 知文 教育長職務代理者、小泉 桂一 委員、四角目 久美子 委員、岩崎 晃子 委員
4. 参 与 横山 英二 教育総務課長、原田 誠 教育対策監、三枝 敏郎 教育総務課長補佐、吉行 順一 指導主事、岩佐 康司 社会教育課長

5. 議 事

(開会 午前10時30分)

教育総務課長 只今から、令和4年第1回高鍋町総合教育会議を始めさせていただきます。はじめに、町長あいさつとなっております。黒木町長よろしくお願いたします。

黒木町長 皆様こんにちは。本日は大変お忙しい中、総合教育会議にご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。また、日頃から、本町の教育行政の推進に深い御理解と多大なる御支援を賜っておりますことに対しまして、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

今回の会議では、「令和4年度全国学力・学習状況調査の結果を受けた今後の対応について」をテーマに意見交換を行いたいと考えております。限られた時間ではあります。皆様のご意見を十分に拝聴してまいりたいと思っておりますので、本日はどうぞよろしくお願いいたします。

教育総務課長 ありがとうございます。それでは、資料に沿って進めさせていただきますが、協議事項の進行につきましては、会議の主宰者であります町長が行うこととなっておりますので、町長、よろしくお願いたします。

黒木町長 はい。それでは私の方で進めさせていただきます。それでは、「令和4年度全国学力・学習状況調査からみた学力向上の課題と今後の対応について」、事務局からの説明をお願いします。

教育対策監 <資料に基づき説明>

指導主事 <AIキュビナ、コグトレオンラインについてデモンストレーション>

黒木町長 只今事務局の方から説明をしていただきました。これから意見交換をさせていただきます。何かご意見、ご質問等はありませんでしょうか。何でも構いませんのでよろしくお願いいたします。岩崎委員いかがですか。

岩崎委員 まず、今の説明とは関係ないのですが、高校生までの医療費無償化、AI学習ドリル「キュビナ」導入のための予算を確保していただいております。保護者としてはまず、それが本当にありがたいなと感じております。

学力については、実際この結果を見たときに少し衝撃を受けました。「ほぼ同程度」という区分であってもプラスではなくてマイナスの側の数値ということで驚きました。今回一人一人の躓きに対応できる学習ドリル「キュビナ」を導入することで、これから学力が定着して、学びも深められるのではないかなと思っています。中学2年生と高校2年生の息子がいるのですが、高校の学級懇談会では、中学校でこれまで習ってきた学習の定着をとということを、中学校ではやはり小学校の内容の定着を今年度中にしっかりさせたいということを先生が仰っていました。だからこそ小学校で学ぶ学習の基礎・基本という部分が大切なのだなということを改めて感じたところでした。

- 黒木町長 ありがとうございます。小学校での学びが重要であるということと、今回の学力・学習状況調査の結果が少し心配だというご意見ですが、いかがでしょうか。
- 島埜内教育長 よろしいでしょうか。今岩崎委員が言われたような状態が、本町でも過去7、8年前にもありました。このときは、校長会とタイアップしまして、委員が申されたとおりの小学校、特に4年生までに、やるやらないは別にして毎日机に向かう習慣を身に着けるということと中学校に入学させるまでに押さえておくべき小学校の基本的な内容をきちんと決めてから中学校にやりましょうということを取り組みました。
- そのおかげで、中学校でぐんぐん伸びてきて、中学校の段階で非常に楽をしたという言い方はおかしいのですが、成績が上がったというというような例がありました。今回導入する「キュービナ」が一つのカンフル剤になるのではないかなと考えております。これをいかに上手く使っていかということは今考えているところです。
- 黒木町長 この分析結果で、小学校が「低い」と出ているのは確かに少し大丈夫かなと思うところがありますね。これは今回だけですか。
- 島埜内教育長 去年の結果と今年の結果を比べてみたのですが、去年より少し下がっています。ただ、学年別にみていくと1年1年の伸び率、例えば2年から3年、3年から4年という伸び率は、ほとんどの学校で確認できましたので、今後期待できるのではないかと考えております。
- 黒木町長 「低い」ということは普通に考えると教育、指導がよくない、あるいは家庭での学習に取り組むのが定着していないなどいろいろな原因があると思いますが、学校での取り組みに問題はないのですか。
- 島埜内教育長 学力検査の際に同時に実施した質問紙調査の結果からいえることは、まず家庭学習の量が少ないということですね。それともう一つ、先日行われた西都児湯地域の教育長会でも話題となったのですが、回答時間が非常に足りない・少ないということも明らかになっております。これは結局、問題を読む読解力が落ちてきているのではないかなというように、西都児湯の教育長会ではこのことを踏まえて来年度を迎えましょう、来年度のテストを迎えましょうという共通理解を持ったところでした。
- 黒木町長 それでは、この結果をもとに、少し改革案を出しているということですね。
- 四角目委員 高鍋西小学校の重点支援訪問に行った時の話ですが、私達が見た3限目の授業で4年生の1組と2組の授業が非常に落ち着いていました。2月の教育委員会で説明があった「たかなべ学力調査」の結果をみても、4年生の成績がすごく上がってましたよね。やはり授業態度というのが、学力向上にもつながってくるのではないかなと感じたところでした。
- 黒木町長 授業態度、雰囲気大事だということですね。
- 四角目委員 雰囲気がすごく良かったです。静かに落ち着いていて。4年1組と2組では非常にいい授業をされているなと感じました。
- 黒木町長 どうですか。クラスの雰囲気というか。
- 教育対策監 はい。いろいろな研修・学校訪問をさせていただいて、4校とも教育委員さんも一緒に見ていただいておりますが、それぞれ課題がございます。その課題を校長先生方と連携を図りながら授業改善や学校経営改善などに努めているところでございます。
- 先ほどの全国学力・学習状況調査は、小学6年生だけの結果でありますので、年によって変動がございます。年度初めには、担任が変わりますので、その学年・学級がどういう状況でバトンタッチするのかということを確認するために12月に全学

教育対策監 年で、「たかなべ学力調査」という標準テストを行っております。そしてそのテストの結果を踏まえて、今受け持っている子供達の学力の足りない部分等をしっかり手当していただいて、次の学年に引き継いでくださいということで、系統的な流れも見えるような形で対応しております。例えばこれが今年度の結果で昨年度と今年の比較をした調査になります。前のスクリーンをご覧ください・・・

<「たかなべ学力調査」の結果について説明>

黒木町長 なるほど。成長するにつれて、また数値が上がるなど変化していくということですね。

教育総務課長 ほかの自治体ではこのような全ての学年を対象とした学力テストというのはやっているところはあまりないと思います。本町独自の取組となりまして、こういった経年変化がみれるようにするために昨年度から導入したものととなります。

黒木町長 この変化を見て先生方で話し合うなどして、課題を共有していくということですね。先ほど四角目委員からご指摘のあったすごくいい雰囲気の学級というのは、いい子供達が集まっているということなのか、あるいは先生の指導力があるからなのか、またはその両方なのでしょうか？

教育対策監 両方だと思います。

黒木委員 今の件ですが、やはり学力は学年差というものがありまして、それから同学年でも学級による差があります。我々が現役だった時代は、隣の学級に負けてはいかんということで先生が授業改善に向けて一生懸命やるわけです。やはり教師力というのも一つの要因になると思います。

少し話が飛躍しますが、今回「キュビナ」を導入していただくことは非常にありがたいと感じております。昔は学習の個別化という言葉が使われておりました。一人一人に応じた個別指導を行っていくということです。小さな学校ではそれに近づくことができますが、それでも1対1にはとてもなれませんでした。ましてや30人、40人いる学校で個別化というのは無理な話です。それができるのが「キュビナ」であると思います。大変ありがたいと感じております。それから、「キュビナ」を家庭に持ち込むということで、不足している家庭学習の時間を増やすことができ、学力も向上すると思います。非常に期待しております。

黒木町長 タブレットは自宅に持ち帰ってもよいのですか。

島埜内教育長 来年度から実施予定です。

教育総務課長 フィルターがかかっていたいかなかったものですから、次年度にクラウド型のフィルターの予算を計上しているところです。

黒木町長 現在は学校だけでしか使えていないのですね。黒木委員が言われたように「キュビナ」というのは個別指導ができるようになってすごくいいなということですね。それから「たかなべ学力調査」のように明確に数値で結果が表れると先生達は負けたくないとか、反省したり、競い合ったりすることにつながるのですね。昔も今も変わらないということですね。

島埜内教育長 競うという点でいえば、中学校の例を出すと縦割りでわざと授業を組むことがあります。例えば普通だったら1年の社会は横山君あなた全部見てねと。それだと競争は生まれないので1組は横山君、2組は島埜内君、3組は誰々・・・というようにして縦割りで組むと競争意識が生まれるので、隣に負けたくない。

黒木町長 なるほど。先生方も競争しているわけですね。小泉委員どうですか。

- 小 泉 委 員 タブレットを持ち帰る件についてですが、自宅から先生方とも繋がっているのですか。「ロイロノート」のように先生のタブレットにデータを送るといったことはできるのですか。
- 教 育 対 策 監 「ロイロ」につなげれば当然可能です。「キュビナ」についても、この課題を家でやってきなさいといった場合、先生は、子供達の取り組み状況がリアルタイムで把握できるようになっています。
- 黒 木 町 長 タブレットでほかの用途というか、変なゲームとかはできないのですか。
- 教 育 対 策 監 そういうことは一切できないように設定しています。
- 黒 木 町 長 そうですか。安心しました。勉強するふりしてゲームをするといったようなことはできないようになっているのですね。
- 教 育 対 策 監 情報モラルに関することも併せて指導していくことが必要となっています。
- 小 山 副 町 長 I Tリテラシーということも大事だということですね。I Tの使い方ということも指導していかないといけないということですね。
- 黒 木 町 長 時代とともに変わっていつているのですね。
- 教 育 総 務 課 長 「キュビナ」を開発された方が神野さんという方でまだ37歳なのですが、今佐賀県の私立東明中学校の校長先生をされておりまして、今宮崎市の教育C I Oを務められています。
- 黒 木 町 長 この「キュビナ」というのは全国の学校で導入されているのですか。いろいろ種類があるんですか。
- 教 育 対 策 監 わかりやすく言うと副教材の一つです。教材として使うか使わないかは、いろいろな会社がございますので、その中から選択するということになります。
- 黒 木 町 長 教科書がいろいろな会社があるように学習ドリルも会社によって内容が違うということですね。
- 教 育 対 策 監 教科書に準じて作成されたソフトをそれぞれの自治体、あるいは学校が選ぶということになります。
- 教 育 総 務 課 長 その子の弱点を探して分析して、過去に遡って、その子に合った問題を出すというのはこの「キュビナ」だけの特徴です。
- 黒 木 町 長 そうなんです。
- 島 埜 内 教 育 長 それから、「キュビナ」を導入することで、保護者が負担している副教材費も減っていくと思いますし、問題などをプリントしていた紙も減っていくと思います。
- 小 山 副 町 長 紙が減るということは、S D G sにもつながるといことになりますね。
- 教 育 総 務 課 長 この「キュビナ」は、最終的には、同じ授業の中でそれぞれみんな違うことを行う、個別最適化、本当だったらこれくらいかかる時間のものが圧縮されて余った時間で探究的な学習であるとかS T E A M教育とかこれから時代を生き抜いていくための力を身に着けるための学習をするために開発されたものということでした。
- 黒 木 町 長 能力のある子は、どんどん先に進んでいってもいいということですね。ほかに何かございませんでしょうか。
- 黒 木 委 員 質問紙調査の中で、小学校も中学校も、自分の夢が持てないという項目が「相当低い」、家庭学習についても「相当低い」となっている点についてですが、前から言われておりますが、学校と家庭との連携ですね。夢を持たせるとか。保護者の教育といいですか。夢を持ってその夢を実現するためには勉強しないとけないといったような昔からの教育といいですか。学校と家庭との連携が大事ではないかと思えます。タブ

黒木委員 レットを家に持って帰ってもゲームとかしなないでちゃんと「キュビナ」に取り組まないといけないよというようなことをちゃんと保護者が指導できる。昔から変わらない家庭での教育といった部分が少し足りないのではないのではないかなと感じています。「相当低い」という結果をみてそのあたりが問題かなと思っています。

黒木町長 委員が申されるように「キュビナ」のことを親が知らない、教育の仕方を。親が戸惑うようなことがあるのではないのでしょうか。学校との家庭との連携についてはどうですかね。

島埜内教育長 今町長が言われたように子供の方が使えて大人の方がわからないという例はスマホをはじめ多くあると思います。だから先ほど副町長からありました情報リテラシーあたりの部分の学校での指導が必要になってくるなということが一つと、最近いろんな方から、保護者の方々にもっとしつけ等について啓発していいのではないかというような要請を受けております。黒木委員が言われた部分は「不易と流行」の「不易」の部分であると思いますのでやはり大事にしていかなければならないものであると思っています。

教育対策監 関連ですが、保護者は自分の子供のことしか見えていないので、全国の同学年の子供と比べて、どういう状況なのかわからないというのが現状だと思います。それで今年度学力とそれからそういう勉強時間を含めて今高鍋町の子供達はこういう状況ですよということをまず地域の方、保護者の方に知ってもらわなければならないと考え、初めてこのような形で公表したところです。公表した上で、先生達も頑張りますと。先生方プラス保護者の協力で学力を上げていきたいと思いますということですね。そのきっかけとして今回ホームページで結果を公表して、こういう「キュビナ」等を今後導入活用していくので家庭学習とも連携してやっていきたいと思いますという形で教育委員会としても校長先生方と一緒に保護者向けの文書等を作成しながら取り組んでいきたいと考えているところです。

黒木町長 ありがとうございます。どうでしょうか。ほかにご質問等ないでしょうか。

岩崎委員 質問よろしいですか。このキュビナが4月から導入されますが、契約は1年契約ですか。継続的に使っていけるのでしょうか。

教育総務課長 継続して使えるようにしたいと考えていますが、予算の関係がございますので、年度更新という形になります。

岩崎委員 先ほどの家庭との連携という話についてですが、中学校になると部活動もあって家でも毎日子供とゆっくり話す時間もあまりないのですが、息子のクラスの先生は、毎日、学級通信を出してくださって、写真が掲載されていたり、学級であったこと、いいことも書いてあればちょっと悪いことと書いていかないと直していかうねということとかそんなことも書いてくださって、保護者としては、学級懇談会の時とかもいろんな情報をもって懇談会に臨めてすごくありがたいなと感じています。保護者と先生の距離も近く感じます。すごくクラスの雰囲気も良くて、あまり勉強一生懸命する方ではなかったんですけど最近自主的に取り組むようになりました。先生方の声掛けだったり、学力がちょっと低かったなという結果をみられて学年全体に先生が毎日英語のプリントを課題として出してくださったり対策してくださっているのはすごくありがたいなというのは2年2組の保護者はみんな言っていました。

立志式が2月にあったのですが、夢という部分で具体的に書いている子供はそんなにいなかったのですが、夢はないけどまだ具体的にこれがしたいというのはないのだけ

- 岩 崎 委 員 けれどいつか夢ができたときのためにしっかり勉強したり、いろんな活動をしたりして自分はそこに備えておきたいと。2年生はそういう前向きな子供が多かったように見えました。学年でと言いますか、たぶん今回の調査対象であった中学3年生の子供達も2年生の時には夢があったんじゃないかなと思います。夢の実現のためには先ほどの資料にも書いてありましたが、学力も伴ってないと選択肢がちょっと減ってしまうという部分もあると思います。勉強で躓いた子供というのは、自分がどこで躓いたのか分からなくなったと思うのですが、「キュビナ」が振り返ってくれるということで、すごく期待してよいのではないかと考えています。非常に楽しみにしています。
- 黒 木 町 長 まずは、保護者と先生との情報交換、連携という重要性を感じますね。子供達の志に将来何々になりたいとかそういうところまで保護者との意見交換をしていると。これはどうなのでしょう。先生と保護者との連携というのは教師にとって重要な能力になるのではないのでしょうか。
- 教育対策監 そういう会話の場についてですが、このコロナ禍で家庭訪問ができない、参観日が中止、参観日があってもずらして懇談は短めに、懇談は中止とかですね。必要な部分ですが、そこが厳しい状況にございました。ただ、次年度はこれまでと同じような形で戻っていく方向でありますので、今のような保護者の声も聴きながらまた学校の方にもお伝えしていければと思っています。
- 黒 木 町 長 各先生によってそういった情報伝達能力あるなしがあるわけですね。そういう点についての評価や指導といったことはあるのですか。
- 島 埜 内 教 育 長 各学校の校長、教頭が指導等行っております。
- 黒 木 町 長 岩崎委員の子供さんの担任の先生は情報伝達が良くて保護者としては安心できるということですね。
- 岩 崎 委 員 声掛けによって子供達も学習意欲がわいているし、保護者としてもああこういう感じの声掛けをすればいいんだというのがわかります。
- 黒 木 町 長 家庭学習は、単に家庭が悪いというだけではなく先生もその家庭に必要な情報を伝えてアドバイスのような働きかけを行うといったことが大事だということでしょうか。
- 岩 崎 委 員 先生方の負担にならない程度ですね。
- 黒 木 町 長 なるほどですね。ありがとうございます。
- 小 山 副 町 長 よろしいですか。調査結果の方に戻らせていただくのですが、町長も言われておりましたが、読むことの力が少し低いというところが個人的に気になりまして。やはり読むということは国語もそうですけれども算数もほかの教科も問題の読解力がないと学力が上がらないのかなと思います。ちょっとお伺いしたいのは本を読むということが小さい時から大事かなと思うのですが、学校の中でそういった時間といいますか授業というのは設けられているところはあるのですか。
- 教育対策監 読書推進関係でそういう取り組みはしておりますが、基本的に今、働き方改革だけではないんですが、いろいろな時間割の中でですね、そういった時間が少なくなってきているのは実状です。それに合わせて本町では読解力と認知能力を高めるということでコグトレを取り入れているのですが、その時間についても少しずつ教育課程の一つに位置付けて何とか町で底上げしていきましようということで取り組んでおります。特に小学校の低学年からということでより働きかけていきたいと思っています。
- 小 山 副 町 長 全体のスケジュールが決まっているのでなかなか難しいかなとは思いますが、小

小山副町長 い時から本を読む習慣があるといいのかなと思いますし、図書館もきれいになりましたので図書館との連携もあるといいのかなと思ひまして。私が今個人的にテーマに掲げているのが各所属の横断で何かやりたいなというのがありますので教育総務課と生涯学習係は同じ教育委員会でありますのでそういった横の取組がもしできればいいなと思ったところでした。せっかく柿原政一郎図書館がきれいになりましたし、環境もいいところですので。ぜひ本を読んでもらいたいというのが一つあります。

黒木町長 確かに本を読む機会は少なくなっているでしょうね。これからの子供達はますます本離れが進むでしょうね。確かに本を読む習慣は大事だと思います。ただ最近は一ユーチューバーがいて、ユーチューブで勉強している事例も多くありますよね。両方使い分けしないといけないでしょうね。ただ基本はやはり読書ですか。

島埜内教育長 先ほど言いましたように今までの学校だったら8時から学校が始まるとしたら子供達は7時50分に来て、7時50分から8時までは読書というような時間がありました。働き方改革の影響で勤務時間の調査も毎月行われるようになって、なかなかそういう時間が確保できなくなりました。今町長も言われたようにユーチューブが今すごく子供達の間で流行っていて夜遅くまでユーチューブをみて、まあ勉強のためならいいんですけども。そういった弊害もありますね。

小山副町長 はい。わかりました。またできる範囲でお願いいたします。

社会教育課長 先日終わったばかりなのですが、町立高鍋図書館の司書と学校の図書司書の方との意見交換会を行ったところです。今後も継続していく予定です。この意見交換の場においても学校の司書の方から様々なご意見を聴かせていただきましたので、町立図書館といたしましてもこれからより連携をとっていきたいと考えております。それから子供読書推進計画を令和5年4月1日に執行させるために今準備をしているところがございます。ほぼ完成はしておりますのでこの計画に基づいて読書活動推進に向けて学校の方とも連携を深めていきたいと考えております。

黒木町長 いろいろご意見いただきましたけれどもいかがですかね。確かにICT化とちゃんと本を読むということはちょっと違うようでありながらも両立しとかなないとけないということでしょうかね。いろいろ難しい時代になっていますね。ほかに何かございませんでしょうか。

島埜内教育長 一つだけいいですか。日本型の教育の一番の特徴は、知・徳・体を一括してやっていくということで、海外からも注目されておりますが、今「知」の部分の話をしてきましたが、「体」の部分も「知」以上にこのコロナ禍の3年間で全国的に落ち込んでいて、ここも気を付けていかなければいけないなと思っているところです。情報提供です。

黒木町長 ありがとうございます。コロナ禍の3年間、やはりいろいろと課題も出てきたということでしょうね。だいたいよろしいですかね。それではこれで協議を終わらせていただきます。

教育総務課長 黒木町長ありがとうございました。次にその他となっておりますが、事務局の方としては特に用意しておりませんが、委員の皆様の方から何かありましたらお願いいたします。ないようでしたらこれで終わらせていただきたいと思います。

以上を持ちまして、令和4年度第1回総合教育会議を終了させていただきます。ありがとうございます。